

菩提山

島田市立伊久美小学校

逞しく伸びてきた前期

10月6日（木）をもって、前期101日が終了します。

これまでの子どもたちの出席の様子を見てみますと、全校児童全員が揃った日が62日。インフルエンザでの停止があったにもかかわらず、この数字は自慢できるものと思われます。人数の多い学校との比較は難しいと思われますが、他校において、これだけの出席率を誇る学校はそうはないと感じています。

この出席率に至った背景には、まず、子どもたちが学校に来て自分の成長を実感できることがあったと思われますし、その成長を支え、認めてくれる仲間が多くいたことがあると考えます。運動会（9/18）の自慢発表で、「がんばれ、がんばれ」と仲間を励ましている姿が印象に残っています。また、その自慢発表に向けて、ひたむきな努力を重ねてきた子が多くいて、その努力を知っているからこそ、心からの励ましの声が聞こえてきたのだと思います。

少人数だからこそ、子どもたち一人一人の良さがわかり、成長を確かめることが出来る伊久美小。この環境の素晴らしさを大いに実感できた前期だと思っています。



<「躍動（やくどう）」を実感させた自慢発表>



紅組、白組に分かれた30人。競技が終わってどの子にも満足な顔が伺えます。



赤白が競い合います。互いに全力を出して競うから、「互いに伸びる」のです。